

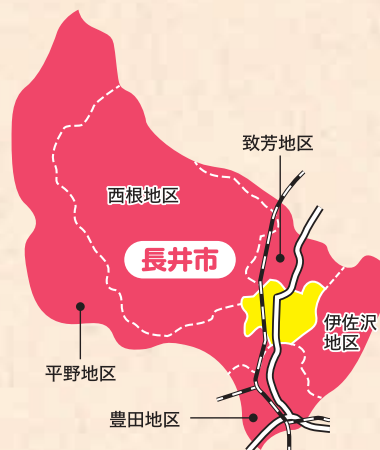
長井市中心市街地 活性化基本計画

～ 概要版 ～



山の港町として栄えたまち

長井市は山形県の南西部に位置し、総面積214.6km²を有する「水と緑と花」のまち。西に葉山連山、東に出羽丘陵を眺める盆地地帯です。「長井」の地名の由来は「水の集まるところ」。その名が示すように朝日山系を源とする野川、飯豊山系を源とする白川が、市の南北を貫流する最上川と交わり河川がまちを囲むように流れています。



江戸時代に酒田を経て京都・大阪への北前船による海路が開かれると、最上川舟運による物資運搬の集積地、米沢藩屈指の商業都市「山の港町」として栄えました。



最上川舟運により栄えた商家 丸大扇屋

明治には郡役所など行政機関が配置され、西置賜地域の拠点都市として位置付けられました。



西置賜郡役所（明治41年）

大正には国鉄長井線が開通し、最上川沿いから鉄道の間市街地が形成されました。



大正3年、長井線が開通

昭和には企業城下町として発展し、市街地の繁栄と賑わいをもたらしました。



昭和30年代の長井駅前通り（写真：小口 昭）

現在の市街地は、5つの商店街や、市役所や図書館・文化会館・公立病院などの公共施設、金融機関の都市機能がコンパクトに集まっています。また、歴史的な景観や観光産業につながるような魅力的な資源が今なお多く残っています。



もともち青空フェスティバル



黒獅子まつり



雪灯り回廊 長井小学校前

① 今、どうして 中心市街地活性化なの？



長井市では、**第五次総合計画（平成 26 年度～平成 35 年度）**において**中心市街地の活性化を重点戦略の一つとして位置づけています**。長井市の中心市街地でも、大手企業の統廃合や撤退、大型小売店舗等の南側郊外への出店により、にぎわいが減ってきました。また一方で、少子高齢化が進む中、全国的にコンパクトなまちづくりが求められてきています。

② 計画が認定されると どうなるの？



国では中心市街地活性化基本計画を作成し意欲的に取り組む市町村に対し、**交付金や税の特例など重点的に支援**しています。長井市では数年間、議論を重ねながら中心市街地活性化基本計画を作成し、国からの認定を受けました。計画は、市民一人一人がこれからの時代に合ったまちづくりのあり方や、幸せな暮らしのあり方について考えるきっかけにもなると言えます。

③ 長井市の中心市街地は今どうなってるの？

計画を策定するにあたり、長井市では、市民意向調査や通行量調査等の統計データ等をもとに、市内外の様々な分野の有識者から成る長井市中心市街地活性化協議会で、地域の現状や活性化のための課題を整理しました。次の図はそれをまとめたものです。

長井市の現状

- ◆中心市街地の居住人口が減少
- ◆中心市街地の南側郊外に食品スーパーやホームセンターなどの大型小売店が進出
- ◆中心市街地の地価公示の下落
- ◆休日における中心市街地の歩行者通行量の減少
- ◆市内の観光客数(白つつじまつり・あやめまつり・黒獅子まつり・水まつり)の減少
- ◆西置賜地域における総合的な商品の吸引力は比較的高い(100%を超える昼間人口)
- ◆年間商品販売額(月坪当たり)は平成16年をピークに減少傾向

市民意向(アンケート調査)

- ◎**中心市街地に出かける目的**
 - ・買い物
 - ・銀行や郵便局などの金融機関利用
 - ・病院などへの通院
- ◎**中心市街地に足りないもの**
 - ・駐車場 ・道路や歩道、防犯灯の整備
- ◎**中心市街地に必要な取り組み**
 - ・駐車場の整備 ・公共交通機関の整備
 - ・商業機能を高める ・集客力のある施設整備
- ◎**年代別で必要と思う取り組み**
 - ・医療や健康、子育てなどの機能の充実
 - ・高齢者福祉施設の整備

活性化の課題

市民と観光客の回遊性を生み出す
まちなか拠点の必要性

公共交通と道路環境の整備による
都市利便性の向上

まちなかにおける商品・サービスを
継続することの必要性

周辺地域からの求心力を保つ
公共施設、就業地の必要性

活性化への取り組み課題

市民や交流人口が互いに行きかう
新たな価値創造が可能な交流拠点の確保

▶ 市民や交流人口が利用する集客施設や
公共施設の整備

中心市街地における
新しいビジネスモデルの創出

▶ 空き店舗などを活用し、市民やUJIターンの
商業、飲食、ITビジネスなどの起業の推進

⑤ 基本方針と目標は？

計画では、次の3つの基本方針とそれに基づく2つの目標を設定し、中心市街地の活性化を推進することとしました。さらに、目標の達成状況を把握するため、3つの評価指標を設定しました。

基本方針Ⅰ

市民と観光客が集い
魅力あるまちづくり



基本方針Ⅱ

商業活動の活性化と多様な雇用の創出によるにぎわいあるまちづくり



基本方針Ⅲ

快適で安全に暮らせるまちづくり



目標1 まちなかのにぎわい創出

1 歩行者通行量(休日)

基準値 (H26年度実績)	目標値 (H32年度)
190人/日	397人/日

2 中心市街地における創業事業所数(年間)

基準値 (H22~26年度の平均)	目標値 (H28~32年度の平均)
平均1.6件/年	平均4.6件/年

主な事業

39 本町複合施設整備事業

本町中央十字路の周辺に各個店を集約した商業複合施設を整備します。観光客向けの飲食や交流スペースと、市民生活に必要な買い物や交流の場を併せ持つ、市内外の幅広い世代の人が集まり憩う場になります。まちなかのにぎわい創出につながり、中心市街地を率先して活性化していく施設として期待されます。



本町複合施設イメージ

16 公共複合施設整備事業

子育て世代同士が出会い、交流できる、にぎわいのある施設を長井駅周辺に整備して、まちなかへとにぎわいを波及させます。市民活動や文化活動などの支援を行うことで、都市福利の環境向上を目指します。



公共複合施設イメージ

26 起業・創業支援事業

市内の空き店舗などを活用して、起業を希望する個人または法人団体などにたいして、賃借料の一部や改装費などを補助します。活発な起業・創業によって商業・サービス業を中心とする産業の振興や中心市街地の活性化とにぎわいを創出します。

目標2 交流人口の拡大

3 まちなか観光客数(年間)

基準値 (H24~26年度の平均)	目標値 (H32年度)
199,657人/年	393,057人/年

主な事業

1 観光交流センター整備事業 (名称：川のみなと 長井)

休憩、情報、地域との連携機能を持った、長井市の総合的な観光情報拠点として、観光交流センターを整備します。特産品の販売なども含めた観光振興全体の要となる最も重要な施設で、車で訪れる人をまちなかへ誘導する拠点としても、にぎわいと活性化に大きく役立つ事業です。

21 観光地域づくりプラットフォーム事業

長井市の豊かな地域資源を活用した滞在交流型観光の取り組みを進め、まちなか観光の窓口機能などを観光交流センターに設置します。滞在交流型旅行商品の企画・販売、人材育成などを行う取り組みを支援し、長井を訪れる人の増加とにぎわいの創出を目指します。

48 フラワー長井線再生事業

長井駅を中心市街地へのアクセス拠点とし、移動手段以外の地域資源としても活用して交流人口の増加につなげます。



観光交流センター完成イメージ



プラットフォーム事業イメージ

※事業の番号は6頁の事業一覧の番号に対応しています。

★歩行者通行量は、中心市街地内の各調査地点における休日の歩行者数について年に一度調査していきます。

★交流人口とは、その地域を訪れる(交流する)人のこと。その地域に住んでいる人、つまり「定住人口」(又は居住者・居住人口)に対する概念のことです。

⑥ 計画の期間と長井市の中心市街地の具体的な区域は？

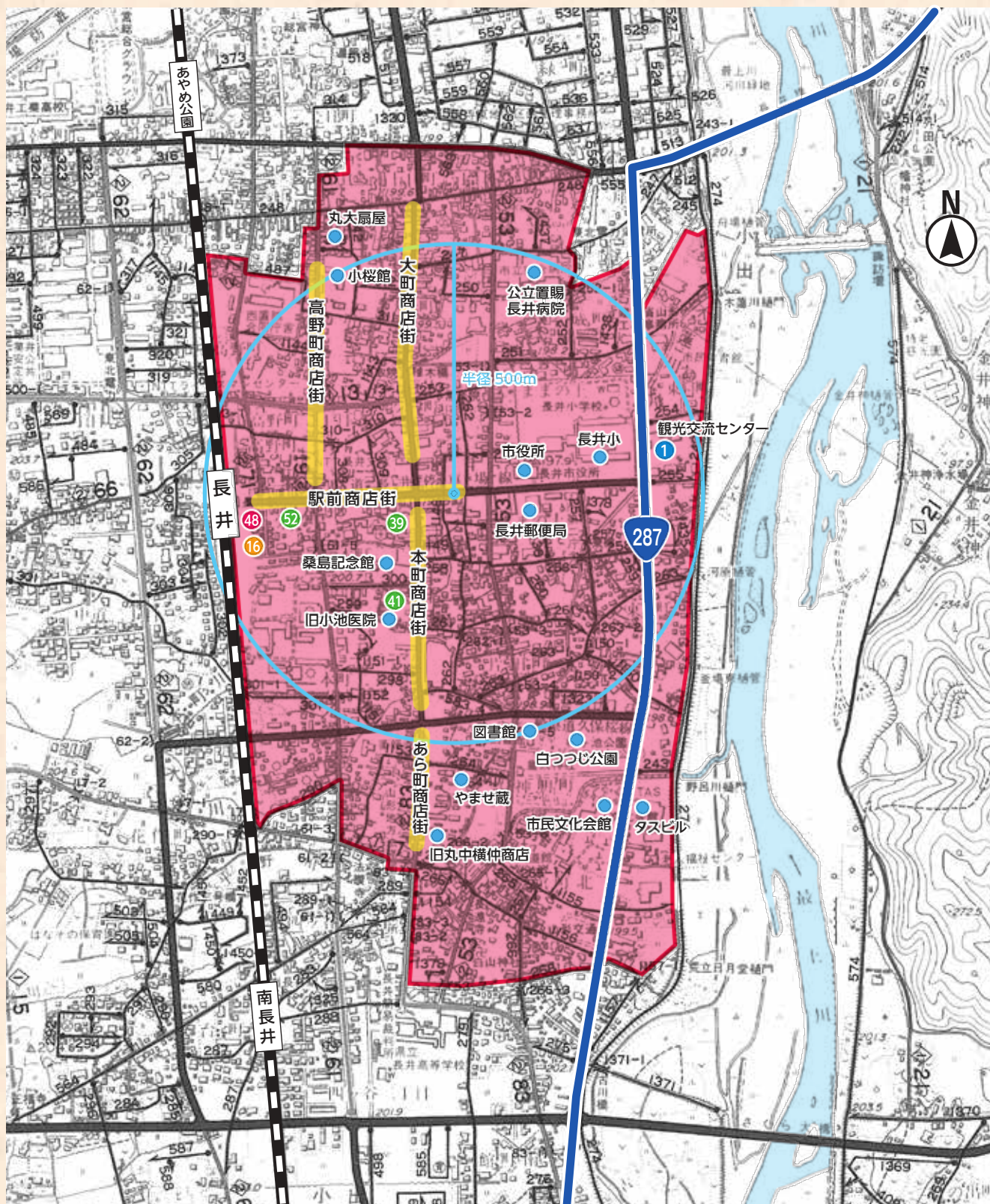
ユッツバーグ



計画期間 平成28年4月から平成33年3月まで（概ね5年間）

位置及び区域 約134ha

（館町北、あら町、神明町、片田町、本町、ままの上、東町、屋城町、栄町、高野町、大町、十日町一丁目）



1 : 15,000

0 300 500 1000 1500m

⑦ 目標を達成するために具体的に何をするの？

目標を達成するために、次の51の事業を進めていきます。



主要な事業番号は
左の地図に載せて
あるぞ。

分類	No	事業名	事業種別		事業主体		事業期間（予定）						
			ハード	ソフト	官	民		H28	H29	H30	H31	H32	
第4章 市街地の整備改善のための事業	1	観光交流センター整備事業	◇	ソ	フ	○		H25～H28					
	2	市道桜堤防線整備（改築）事業	◇			○		H26～H28					
	3	市道神明野川線整備（改築）事業	◇			○		H26～H28					
	4	市道本町東線整備（路面・消雪設備）事業	◇			○		H26～H28					
	5	市道本町西1号線整備（歩道）事業	◇			○		H27～H28					
	6	市道船場清水町線整備（石畳）事業	◇			○		H27～H28					
	7	もとまち広場整備事業	◇			○		H27～H28					
	8	フットパス周辺環境整備事業	◇			○		H26～H28					
	9	まちづくり活動推進（まちづくり協議会・ワークショップ開催）事業		◆		○		H24～H28					
	10	まちづくり活動推進（景観（修景）整備支援）事業		◆		○		H26～H28					
	11	都市計画道路桐町成田線街路整備事業	◇			○		H23～H29					
	12	防犯灯LED整備事業	◇			○		H25～H29					
	13	撞木川整備事業（河川整備）	◇			○		H27～H28					
第5章 都市福祉施設を整備する事業	14	長井小学校第1校舎耐震工事業	◇			○		H28～H29					
	15	学童クラブ施設整備事業	◇			○		H28～H31					
	16	公共複合施設整備事業	◇			○		H28～H32					
第6章 居住環境の向上のための事業	17	中心市街地の空き家実態調査及び活用策検討事業		◆		○		H28～H32					
	18	長井市定住促進支援事業		◆		○		H28～					
	19	長井市住宅新築・増改築支援事業		◆		○		H28～					
	20	長井市住宅リフォーム支援事業		◆		○		H28～					
第7章 経済活力の向上のための事業	21	観光地域づくりプラットフォーム事業		◆			●	H28～					
	22	本町青空フェスティバル事業		◆			●	H28～					
	23	商店街ガイドツアー事業		◆			●	H28～					
	24	ながい産業フェア事業		◆			●	H28～					
	25	おらんだラジオ運営事業		◆			●	H28～					
	26	起業・創業支援事業		◆		○		H28～					
	27	まちなか活性化補助金		◆		○		H28～					
	28	公衆無線LAN構築整備事業	◇			○		H28～					
	29	健康増進ウォーキング事業		◆		○		H28～					
	30	さくらまつり事業		◆			●	H28～					
	31	白つつじまつり事業		◆			●	H28～					
	32	ながい黒獅子まつり事業		◆			●	H28～					
	33	あやめまつり事業		◆			●	H28～					
	34	ながい水まつり事業		◆			●	H28～					
	35	ながい雪灯り回廊まつり事業		◆			●	H28～					
	36	花観光推進事業		◆		○		H28～					
	37	御殿市開催事業		◆			●	H28～					
	38	小桜朝市開催事業		◆			●	H28～					
	39	本町複合施設整備事業	◇				●	H30～H31					
	40	長井市中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業		◆			●	H28～H32					
	41	本町テナント整備事業	◇				●	H28～H29					
	42	本町旧家活用整備事業	◇				●	H29～H30					
	43	タス再生整備事業	◇				●	H28～H29					
	44	親子ふれあい事業		◆		○		H28～					
	45	まち歩き観光事業		◆			●	H28～					
	46	観光ボランティアガイド事業		◆		○		H28～					
	47	新たな拠点づくり事業	◇	◆		○		H28～					
	52	けん玉のふる里プロジェクト事業		◆		○		H28～					
第8章 一体的に推進する事業	48	フラワー長井線再生事業		◆		○		H27～					
	49	市営バス運行事業		◆		○		H27～					
	50	高齢者外出支援事業		◆		○		H27～					
	51	障がい者移送サービス事業		◆		○		H27～					

⑧ 計画を進めていく体制は？

計画策定にあたり、市民で話し合う場として、長井商工会議所（経済活力の向上）及び一般財団法人置賜地域地場産業振興センター（都市機能の増進・中心市街地整備推進機構）が設置主体となり、平成26年7月に長井市中心市街地活性化協議会を設立しました。専門部会や幹事会を含め計10回にわたって協議をし、多様な関係者の合意形成を図りながら議論を重ねました。引き続き、協議会を中核とし、様々な主体と連携しながら進めていきます。



まちづくりの主役は市民の皆さん一人一人です！次の世代に魅力ある中心市街地を引き継げるよう、活性化についてご意見等ありましたら、ぜひ右記までお聞かせください！



パーニツク・ナガイ



長井市中心市街地活性化協議会設立総会

<発行・お問い合わせ>

長井市商工観光課 〒993-8601 山形県長井市ままの上5番1号
電話：0238-87-0827 FAX：0238-88-5914